## 平成28年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

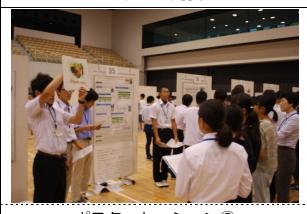
名	称	新潟県 SSH 生徒生徒研究発表会 in Echigo-NAGAOKA
期		平成28年7月26日(火)
会	場	アオーレ長岡
女寸	象	1年生 2年生(理数科) 3年(理数科サイエンスコース)
▤	的	・新潟県内のSSH指定校5校が一同に会し、生徒の「課題研究」の口頭発表やポスターセッション、参加生徒が協力して課題に取り組む「生徒交流会」を通して、参加した生徒が相互に交流できる場を提供する。
内	容	・各代表によるステージ発表(今年は富山県より富山中部高校が参加) ・ポスターセッション:フロアでポスターを用いて発表 74 テーマ ・生徒交流会:テーマは「ペーパードロップ」、指定の用紙と用具で立 体構造物をつくり、高所より落下させ着地した構造物の高さを競う。





ステージ発表

ポスターセッション①



ポスターセッション②



生徒交流会

### ステージ発表

- 研究の動機が、日常生活や社会にからんだものの人が多く、研究は、 自分が日頃不思議に思うことから始まるのだと思った。
- ・難しかったです。しかし、よく分からないなりに精一杯理解しようとする姿勢が大事なんだと思います。それが、研究の最初の一歩なんだと思います。
- ・どの学校の発表も、同じ高校生なのと思うようなレベルの高い発表 でした。パワーポイントも動画を入れたり、写真を入れたりと、見る 側としてよりわかりやすく興味がわきました。長岡高校は英語で行っ ていて、すごかったです。

### ポスターセッション

# 参加者の感想など

- ・様々なジャンルのグループを回り、発表を聞いたり、質問したりして楽しかった。水質の浄化や、心理のことなど身近なテーマから科学的な研究をしている人がいて、おもしろかった。
- ・自分の聞きたいところに行けたのがよかった。だが、人が多すぎて よく聞き取れなかったところがいくつかあり、ステージ発表で気にな ったところに行けてよかった。

#### 生徒交流会

- ・話し合いで「土台を作った方がいい」「タワーみたいに高くしたらどうか」など様々な意見が出ました。自分も空気抵抗をなくすために穴をあけたらどうかという意見を出すことができました。
- ・考えて、意見を話したり、聞いたりするのは大変だけど、おもしろ いということがよく分かりました。
- ・普段関わることのない人たちと交流できてよかったです。一緒に考 えたり、作ったりできてよかったです。